

## 2002年第2週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- 病原体検出報告(水痘)
- インフルエンザウイルス分離検出状況
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表

## 2001年12月報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 疾病別グラフ(四類定点月報告分)
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 医療圏別累計表

## 感染症豆知識

- HIV感染症AIDSの治療の動向

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



### (全数情報)

- ・細菌性赤痢が1件報告された。ソネ菌が検出されており、推定感染地はフィリピンである。
- ・アメーバ赤痢が3件報告された。推定感染地は国内2件(推定感染経路:異性間性的接触1件、不明1件)、モンゴル1件である。
- ・急性ウイルス性肝炎が3件報告された。B型が2件、C型が1件である。C型の1件は、フランスでの針治療による感染が疑われている。
- ・クリプトスポリジウム症が1件報告された。HIV陽性者で、感染源は不明である。
- ・HIV感染症が3件報告された。いずれも無症候性キャリアで、同性間性的接触による感染が推定されている。
- ・ジアルジア症が2件報告された。推定感染地はインドとミクロネシアである。
- ・ツツガムシ病が2件報告された。いずれも島しょ保健所からの報告である。
- ・デング熱が1件報告された。タイでの感染が推定されている。
- ・梅毒が2件報告された。早期顕症梅毒と無症候梅毒で、いずれも異性間性的接触による感染が推定されている。
- ・マラリアが4件報告された。熱帯熱マラリアが2件、三日熱マラリアが1件、卵形マラリアが1件である。推定感染地はウガンダ・ケニア、マリ、パプアニューギニア、南アフリカ共和国である。
- ・レジオネラ症が1件報告された。77歳男性で、血清群1群のL.pneumophilaが検出された。銭湯での感染が推定されたことから調査を行ったところ、採取した浴槽の水から同群のL.pneumophilaが検出された。保健所は原因浴槽の使用を停止させ、洗浄・消毒を指示した。患者の菌株と浴槽由来の菌株のPFGEパターンが一致したことから、浴槽が感染源と思われた。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

### (定点情報)

- ・インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、流行性角結膜炎の増加が目立つ。感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎も再び増え始めた。

### (病原体情報)

- ・菌株で搬入されたMRSA6株のコアグラ-ゼ型は 型が1件、 型が5件である。溶血性レンサ球菌12株のT型は1型3件、4型6件、12型1件、UTが2件であった。
- ・上・下気道炎患者5名の咽頭拭い液からアデノウイルスが検出された。
- ・ツツガムシ病患者からリッケッチア・ツツガムシ特異抗体が検出された。
- ・胃腸炎集団発生11事例の患者の検体55件からSRSVが検出されている。
- ・多摩地区の定点から搬入されたインフルエンザ様疾患患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスがPCRで検出された。

- ・保健所から搬入された血清 51 件中 1 件から梅毒特異抗体が検出された。
- ・保健所から搬入された血清 73 件中 21 件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・定点から搬入された血清 9 件中 4 件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液 13 件中 2 件からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。

## (その他の情報)

- ・定点 (武蔵村山市) から搬入された咽頭拭い液から今冬期初めてインフルエンザウイルスが分離された。A 香港型 (AH3) で、抗原性はワクチン株である A/Panama/2007/99 に近い。患者は 24 才の女性で症状は発熱(39 )、咳漱、関節痛、下痢等である。

## 調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

### 台東区

- ・インフルエンザの患者は 3 家族 6 人が A 型で、これとは別に 8 人が B 型でした (インフル A・B - クイック「生研」)。

### 大田区

- ・インフルエンザウイルス検査できず臨床診断にて 3 人とも B 型インフルエンザと診断しました。
- ・インフル A・B - クイック「生研」検査にて A 型陽性でした。

### 狛江調布

- ・4 歳児、インフルエンザ A 型でした。

### 府中小金井

- ・近くの保育園で流行性耳下腺炎が流行している。

### 多摩東村山

- ・インフルエンザは 2 例とも A 型でした。(キャピリア FLuA・B)
- ・インフルエンザはインフル A・B - クイック「生研」にて B 型陽性でした。

## 全数届出患者数一覧表 2002年2週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)	
		51週	52週	1週	2週	1週	2週
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	ペスト						
	マ・ルブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	コレラ			2		2	
	細菌性赤痢	4	2	1	1	14	28
	腸チフス						
	パラチフス					1	
	急性灰白髄炎						
	ジフテリア						
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1				9	10
四類 (全数届出)	アメ - バ赤痢	3		1	3		5
	エキノкокクス症						
	黄熱						
	オウム病						4
	回帰熱						
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)				3		4
	Q熱	12					
	狂犬病						
	クリプトスポリジウム症				1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			2	3
	後天性免疫不全症候群	9	7		3	1	3
	コクシジオイデス症						
	ジアルジア症	1			2		2
	腎症候性出血熱						
	髄膜炎菌性髄膜炎						
	先天性風疹症候群						
	炭疽						
	ツツガムシ病		1		2	8	7
	デング熱		1		1		1
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	乳児ボツリヌス症						
	梅毒	1	5		2	1	3
	破傷風						1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						2
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	ブルセラ症						
	発疹チフス						
マラリア			1	4		2	
ライム病							
レジオネラ症	1	1	1	1		2	

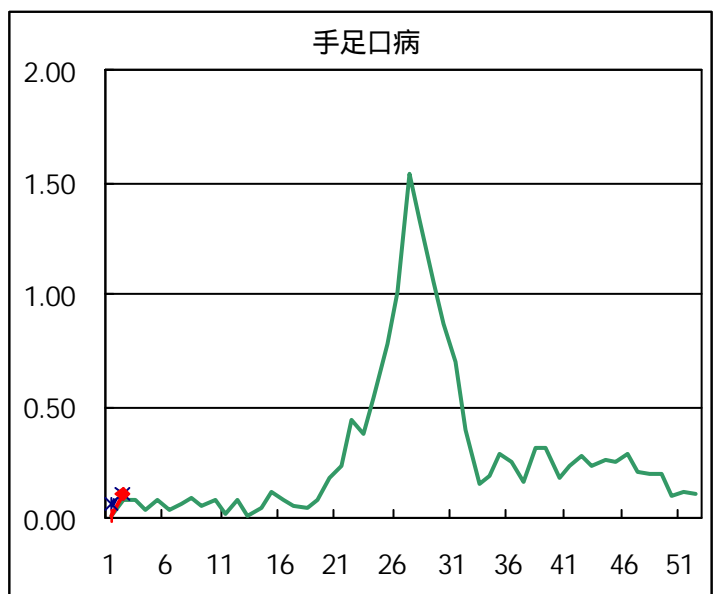
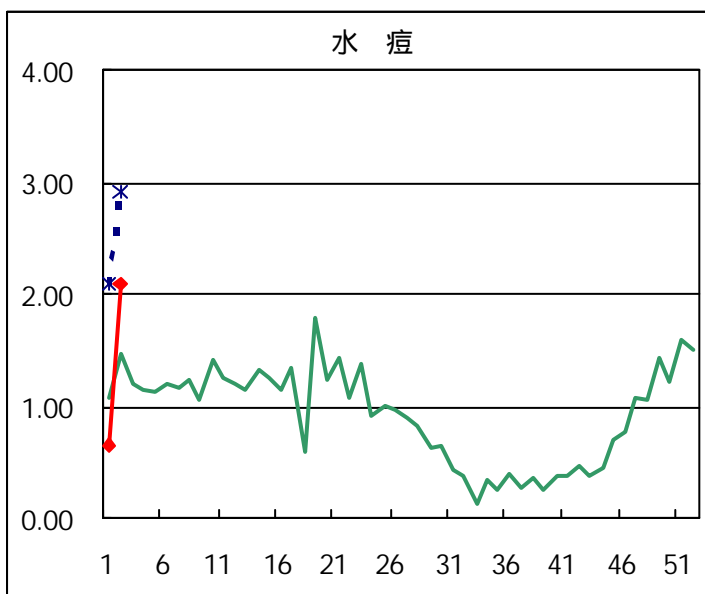
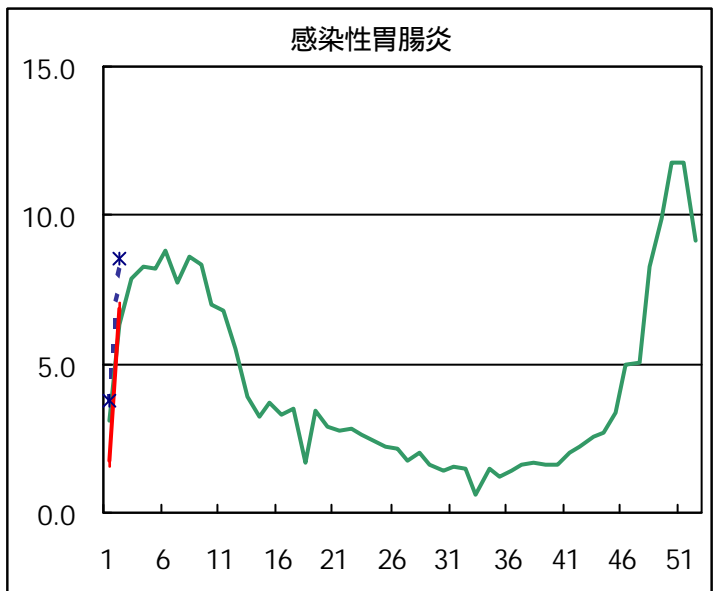
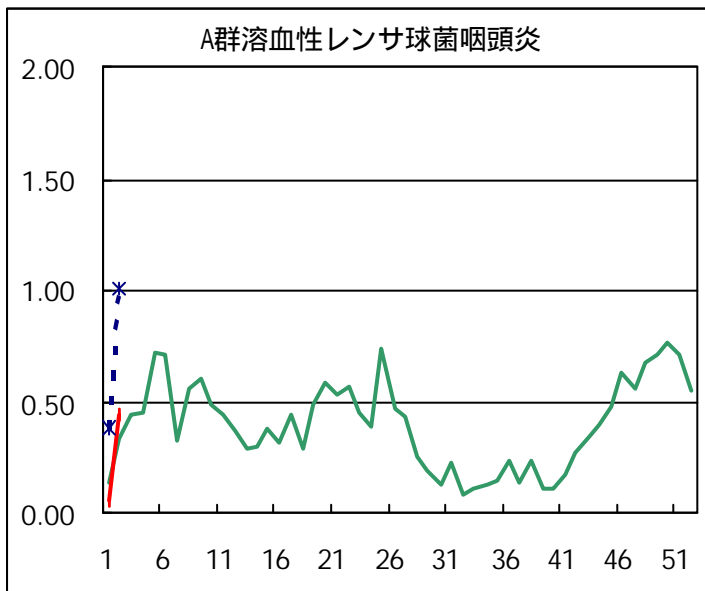
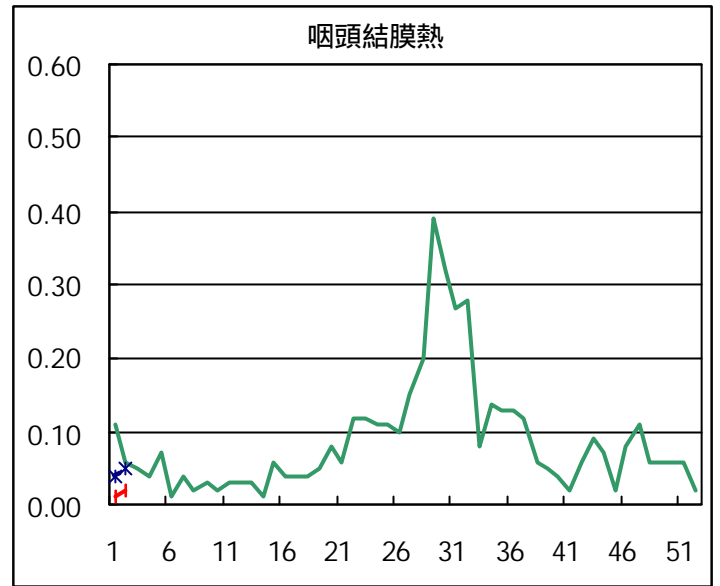
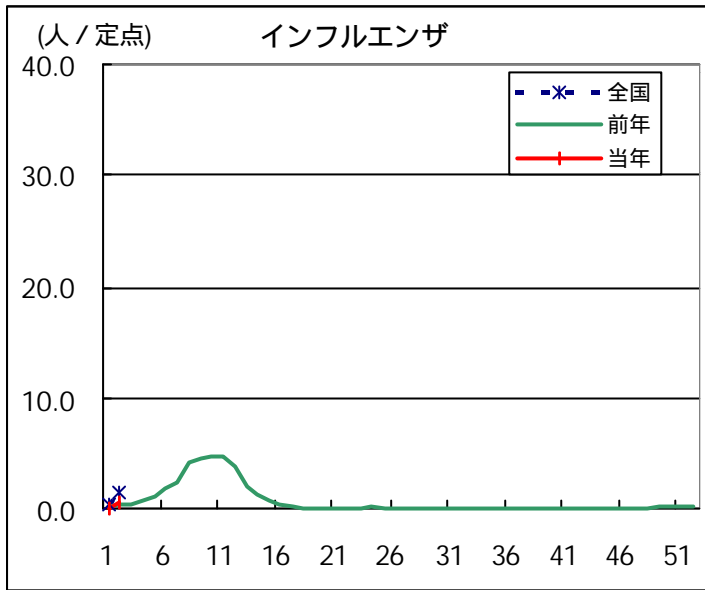
医師からの追加届出により増加することがあります(2002/01/16集計)。  
1週目の国の情報を今回掲載いたしました。

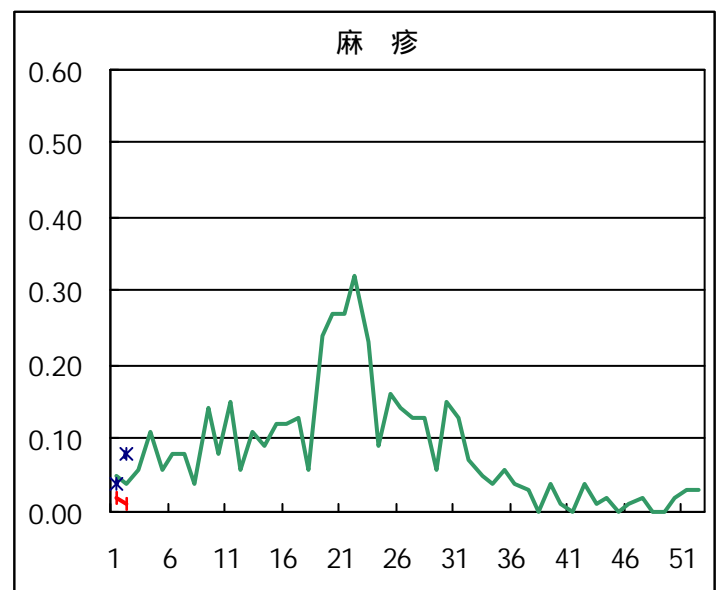
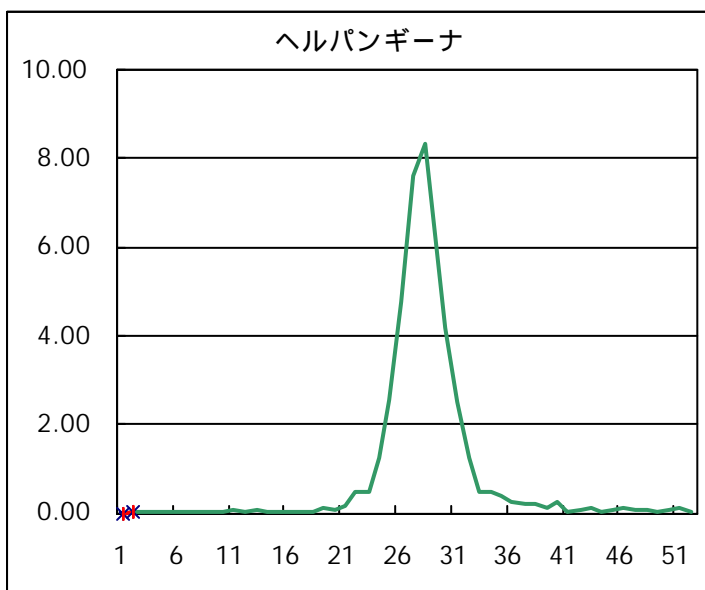
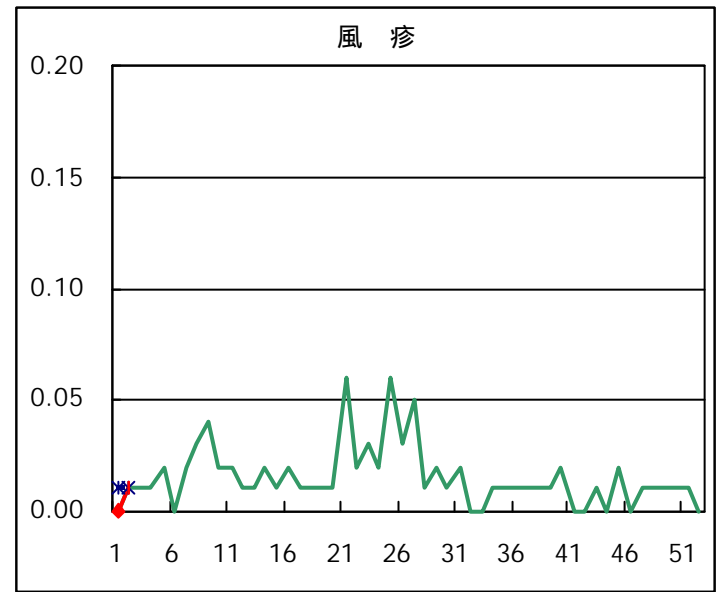
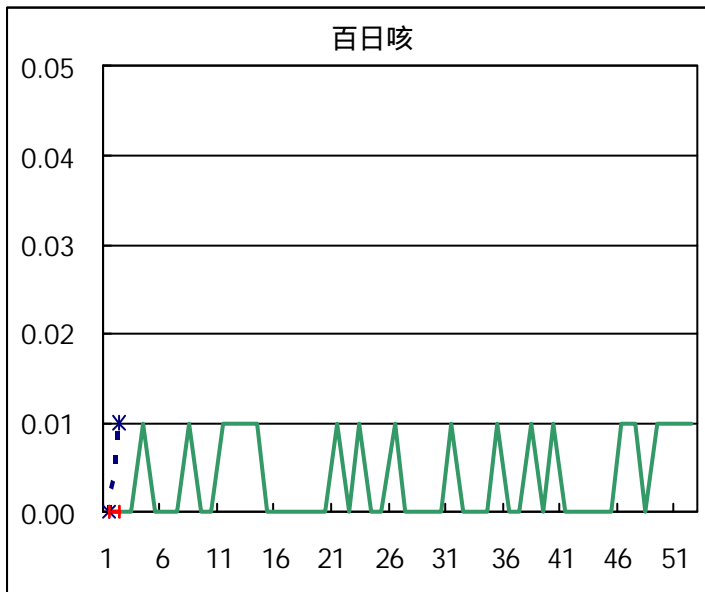
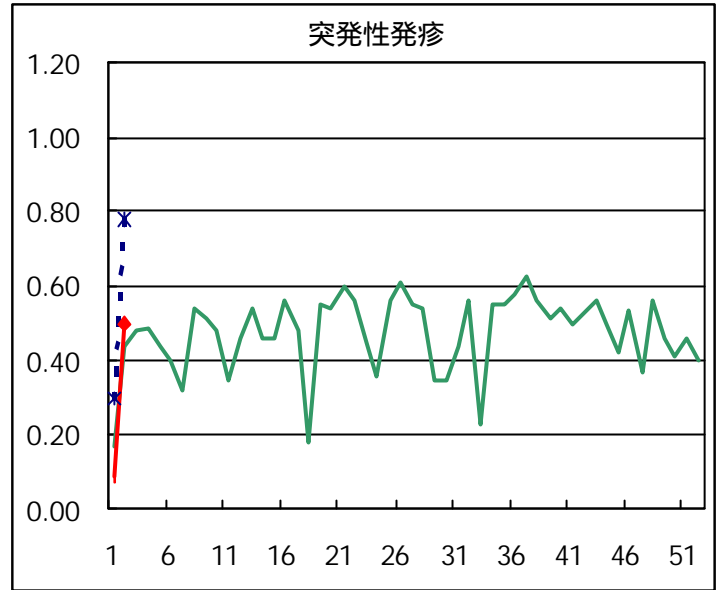
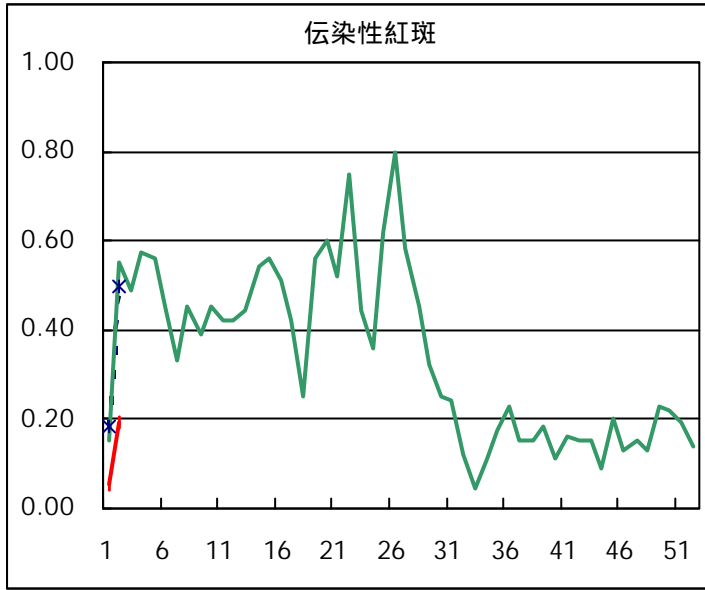
## 定点報告疾病集計表（男女別）

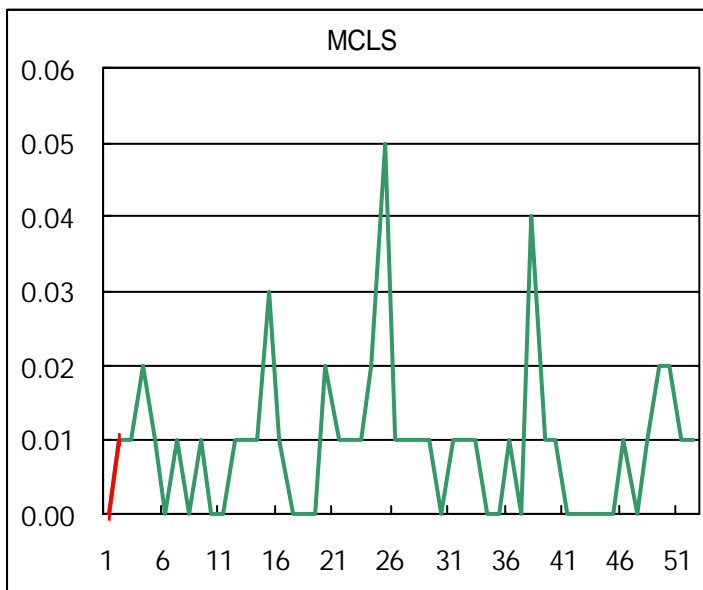
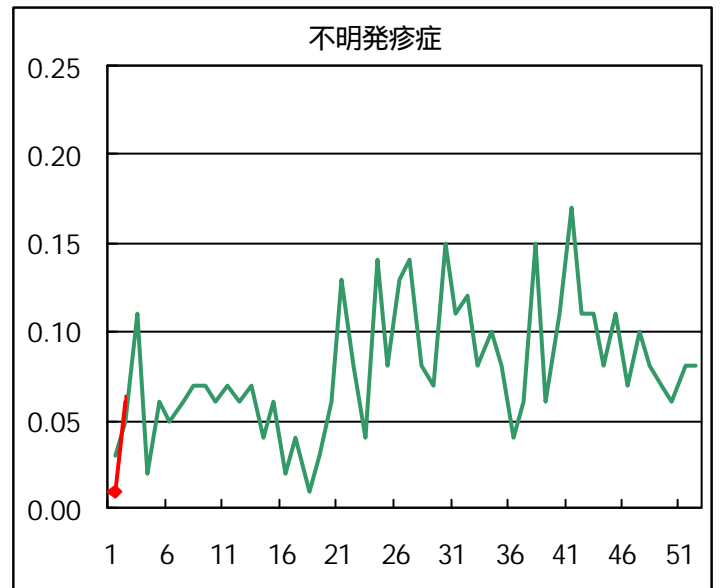
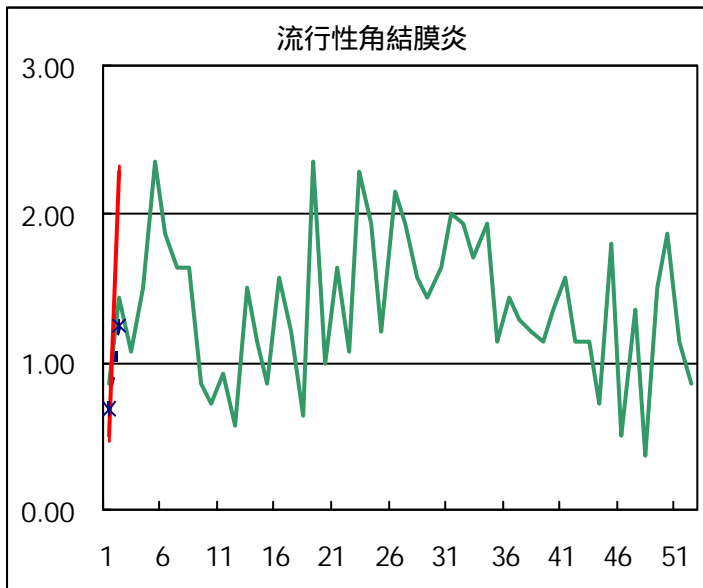
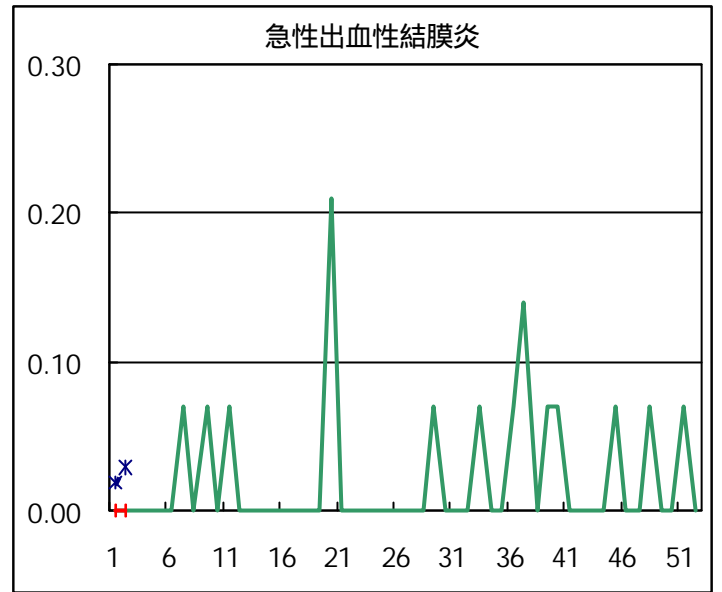
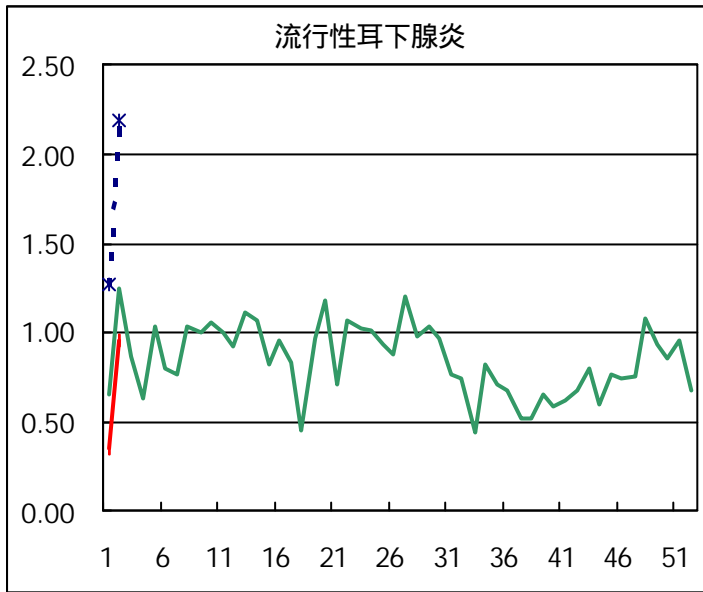
疾病名	性	2001年 週				累計
		51	52	1	2	
インフルエンザ	男	19	10	3	50	82
	女	13	16	5	37	71
咽頭結膜熱	男	3	1	1	1	6
	女	5	2	1	2	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	58	37	4	33	132
	女	43	41	5	30	119
感染性胃腸炎	男	797	654	128	490	2069
	女	876	652	125	487	2140
水痘	男	121	117	45	146	429
	女	104	95	48	151	398
手足口病	男	10	6	1	6	23
	女	7	10		9	26
伝染性紅斑	男	17	8	4	9	38
	女	10	12	3	18	43
突発性発疹	男	30	38	9	36	113
	女	35	19	4	35	93
百日咳	男		2			2
	女	1				1
風疹	男	1				1
	女				1	1
ヘルパンギーナ	男	10	5	1	5	21
	女	8	3	1	3	15
麻疹(成人以外)	男	2	4	2	1	9
	女	2		1	1	4
流行性耳下腺炎	男	77	53	29	75	234
	女	60	43	21	62	186
不明発疹症	男	6	6		5	17
	女	5	5	2	3	15
M C L S	男	1				1
	女	1	2		1	4
急性出血性結膜炎	男	1				1
	女					
流行性角結膜炎	男	11	7	3	21	42
	女	5	5	4	11	25
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男				1	1
	女					
細菌性髄膜炎	男				2	2
	女					
無菌性髄膜炎	男	2	1			3
	女		1			1
マイコプラズマ肺炎	男	1	1		5	7
	女		2		3	5
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男					
	女	2	1			3

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

# 疾病別グラフ(四類定点週報告分)

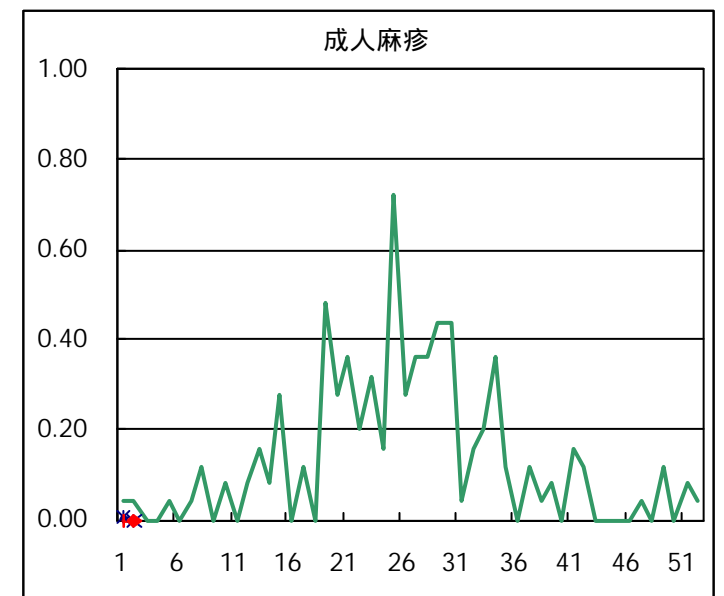
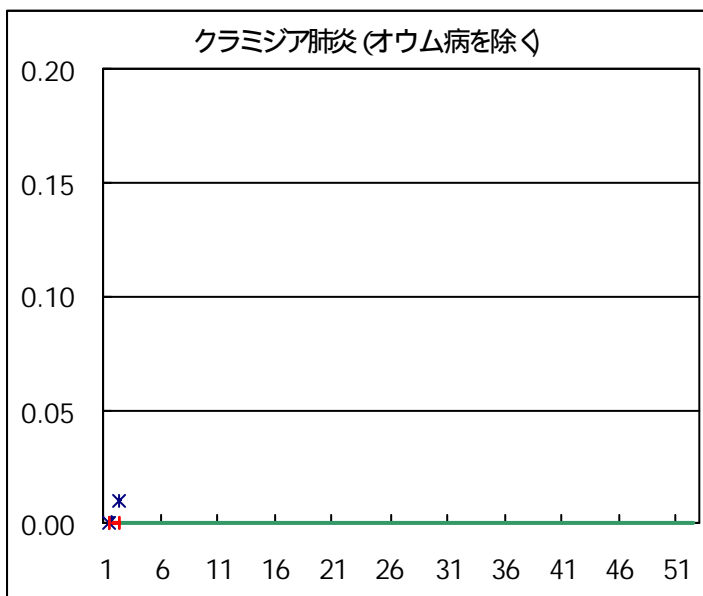
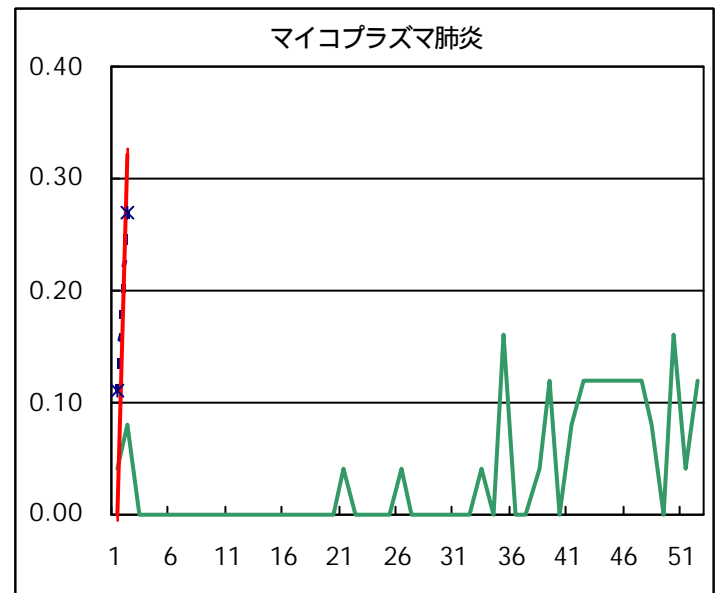
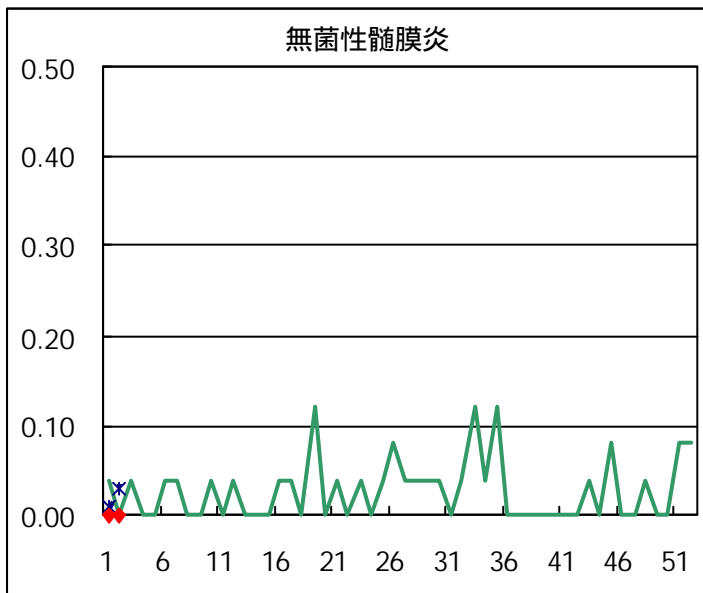
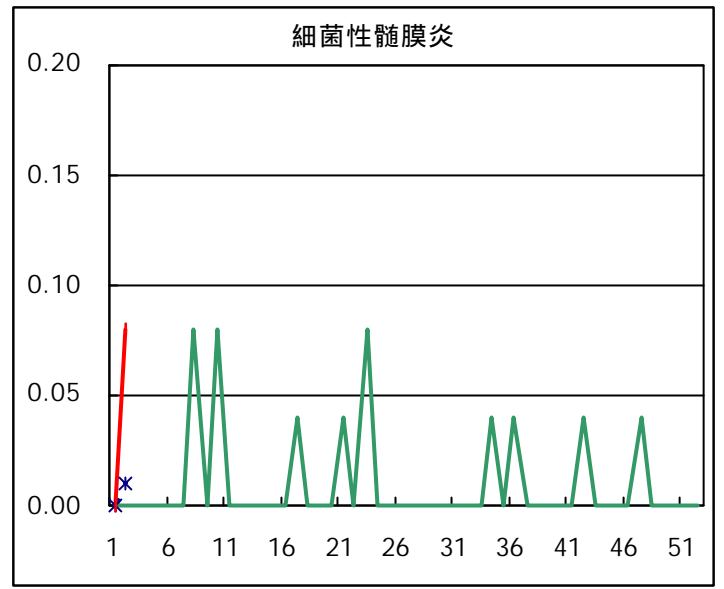
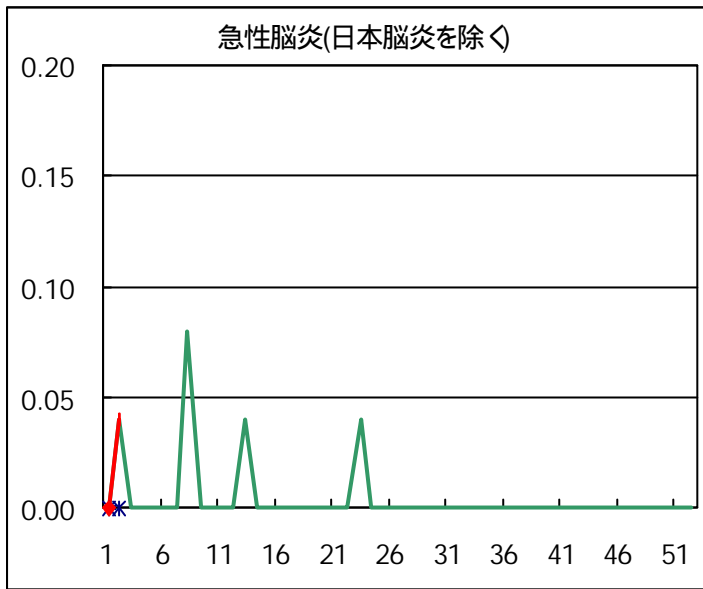






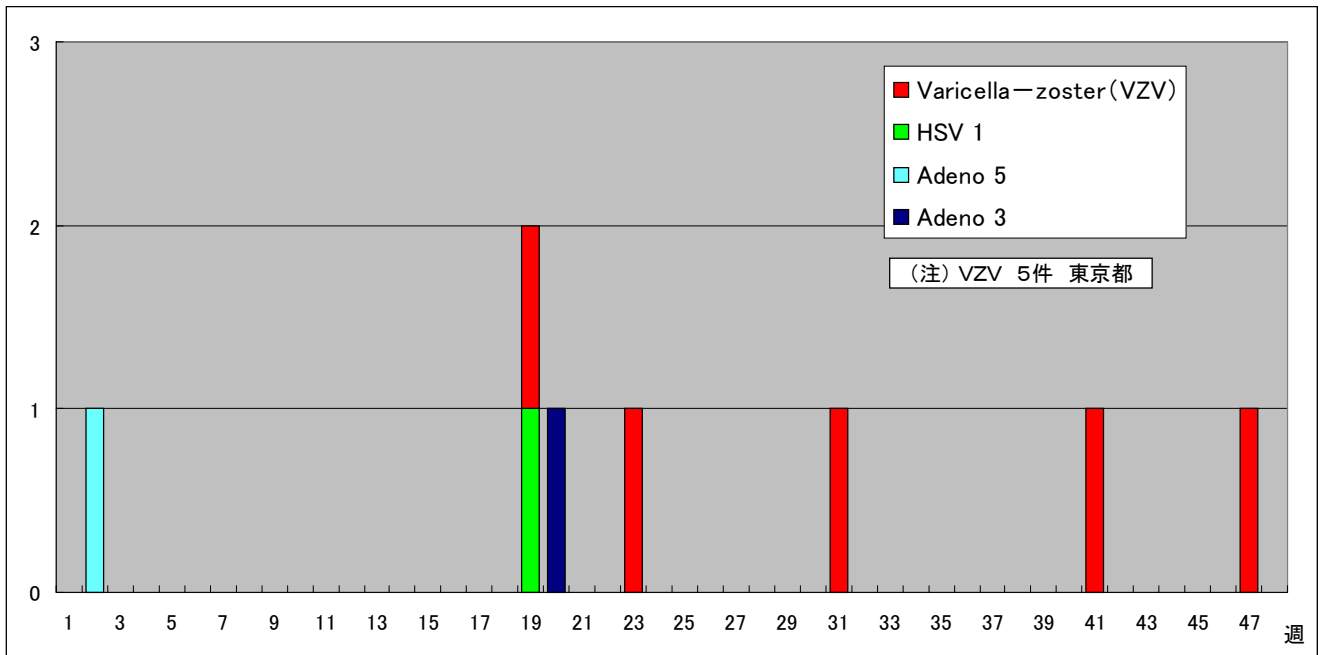
疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	





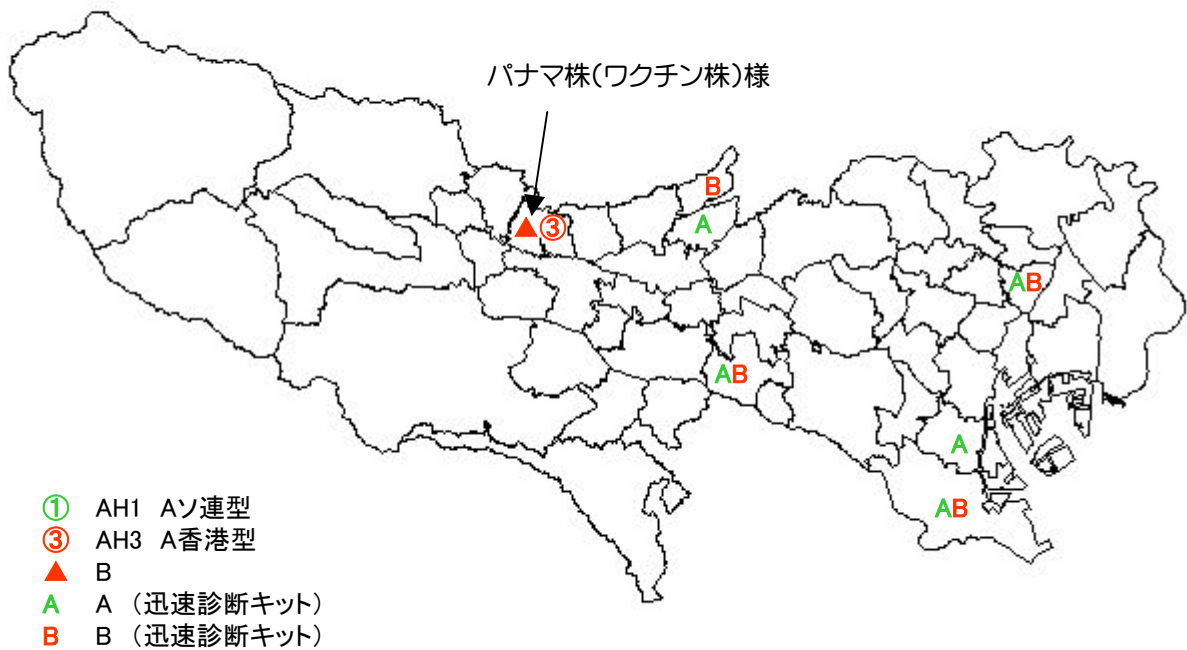
# 病原体検出報告（水痘）

水痘患者から検出されたウイルス（全国報告数）



東京都以外の報告数は個票および速報から集計

# インフルエンザウイルス分離検出状況（東京都）



年齢階級別累計表 (2002年 2週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～ 6ヶ月				7	10			5								1	
～ 1歳	1			64	12		1	44			1					3	
1歳	2			111	41	4		22			1		5		1		
2歳	7		1	95	54	2					1		10		2	2	
3歳	5	1		5	93	4	2						15				1
4歳	7			10	71	51	3	4					20			1	
5歳	7	1		11	67	28	1	1			1		32		2		
6歳	2	1		11	57	16		2		1			18		1		
7歳	2			8	58	10	1	8					11				
8歳				2	36	6		5					8				
9歳	2			3	20	7		2					3				
10～14歳	6			3	78	7		1			1	2	7		1	1	
15～19歳	7			1	28	1					1		4				
20～29歳	12			8	192	2		1			2		4		7		
30～39歳	12														9		
40～49歳	7														5		
50～59歳	3														3		
60～69歳	4														1		
70～79歳	1																
80歳以上																	
合計	87	3	63	977	297	15	27	71	0	1	8	2	137	0	32	8	1
先週比	79	1	54	724	204	14	20	58	0	1	6	-1	87	0	25	6	1

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2002年2週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田	3			5	8			1					2					19
中央区	2			1	3			2					6					14
みなと	1			9	3		1	1					3		2			20
新宿区	6		2	32	12		3	1					4		12			72
文京				19	3										3			25
台東	14		1	32	10	1		5			2							65
墨田区			1	19	8	2		1					1					32
江東区			5	31	5	1	1	2										45
品川区	2			51	6	1		2					2					64
目黒区	1		1	11	8		2						2			1		26
大田区	5	2	4	63	34		4	9					3		2	1		127
世田谷区	6		1	44	11	2	4						23					91
渋谷区	4			65	18			1					2					90
中野区			3	47	25			3		1	1	1	13				1	95
杉並				22	5			4					3					34
池袋				3							2				7			12
長崎				3														3
北区	2		6	15	7			5					3					38
荒川区	2		7	5	2								1		2			19
板橋区	3			28	7			1										39
練馬区	5		1	28	8			1					7					50
足立				35	10							1	1					47
葛飾			4	21	15	3	6	5			1		3			2		60
江戸川			14	56	14		3	5					9					101

保健所別累計表 (2002年2週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川	5		1	17	9			2					2					36
秋川	2		2	23	4		2						4					37
八王子	1			17	5	1		7					5					36
南多摩	5			25	9			4			2		4					49
町田			3	45	12	4		1								1		66
多摩立川			1	24	5								2					32
村山大和				19	5			1							3			28
府中小金井	7			1	3			2					3					16
狛江調布	2			32	6								5					45
三鷹武蔵野			4	33	8		1	1					12		1	2		62
多摩小平		1		50	3			2					5					61
多摩東村山	9		2	28	6			2					7			1		55
島しょ				18														18

東京都合計	87	3	63	977	297	15	27	71	-	1	8	2	137	-	32	8	1	1729
定点当り報告数	0.49	0.02	0.44	6.88	2.09	0.11	0.19	0.50	-	0.01	0.06	0.01	0.96	-	2.29	0.06	0.01	

## 発生動向総覧 (月報告分) 2001年12月分

### (性感染症)

- ・トリコモナスの報告数は前月より増加し、昨年同期に比べると多い。
- ・性器クラミジア、尖形コンジローム、および梅毒様疾患の報告数は前月より減少した。
- ・性器ヘルペスおよび淋病様疾患の報告数は横ばいである。

### (基幹定点疾病)

- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告数は前月より減少した。
- ・薬剤耐性緑膿菌感染症の報告数は横ばいである。
- ・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告数は急増し、2001年で最も多い。

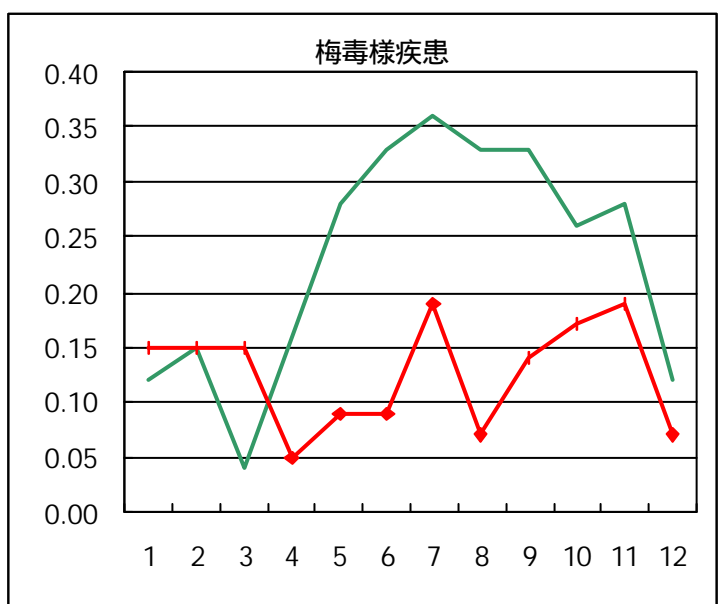
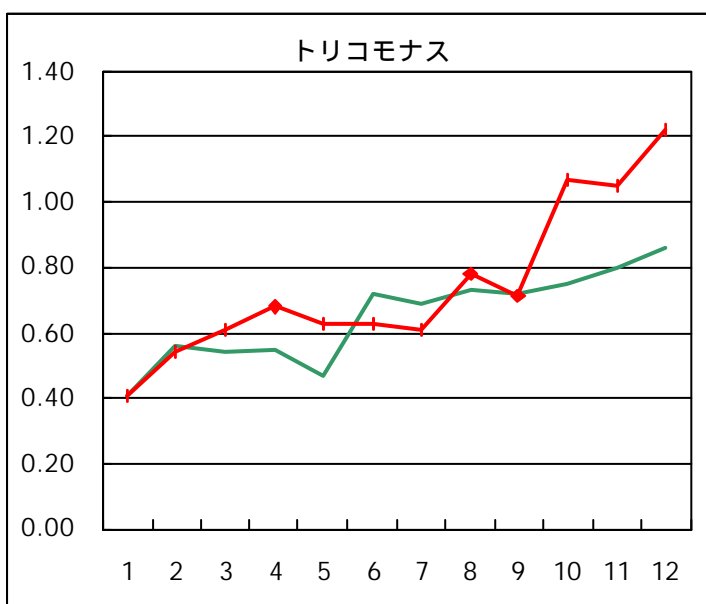
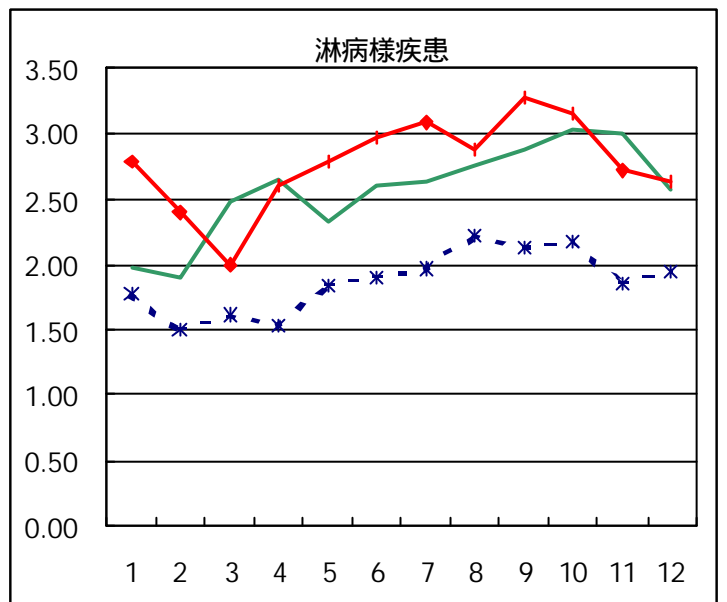
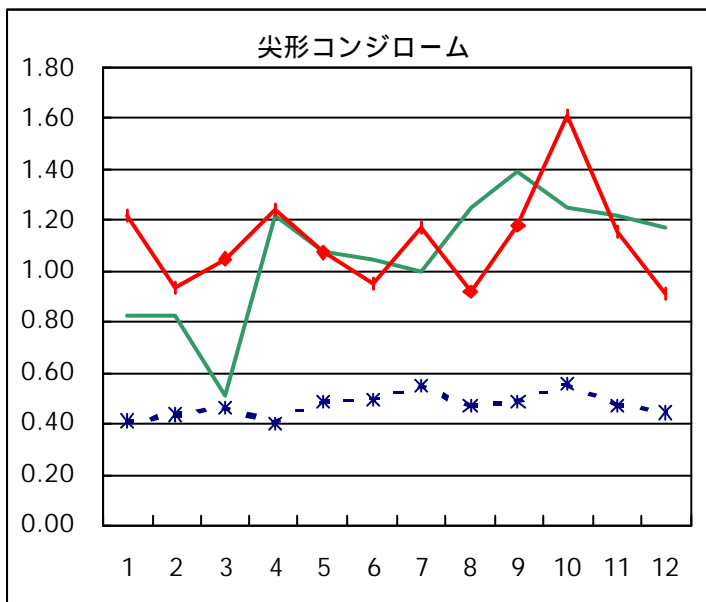
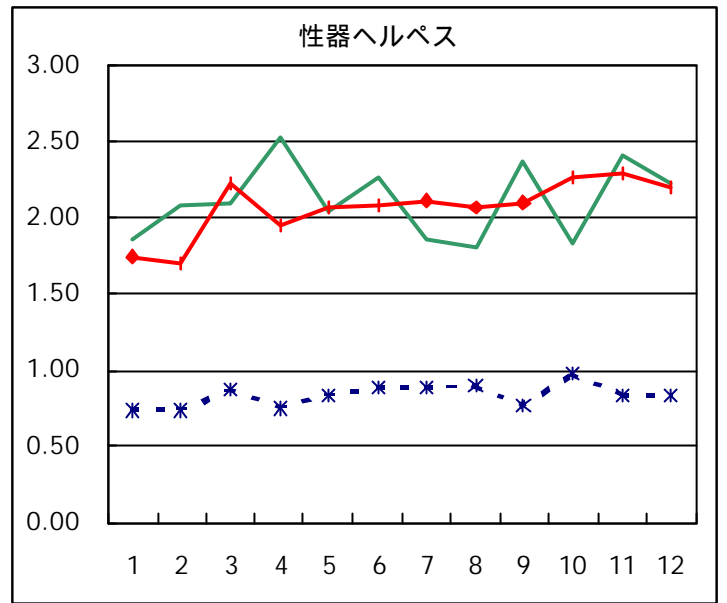
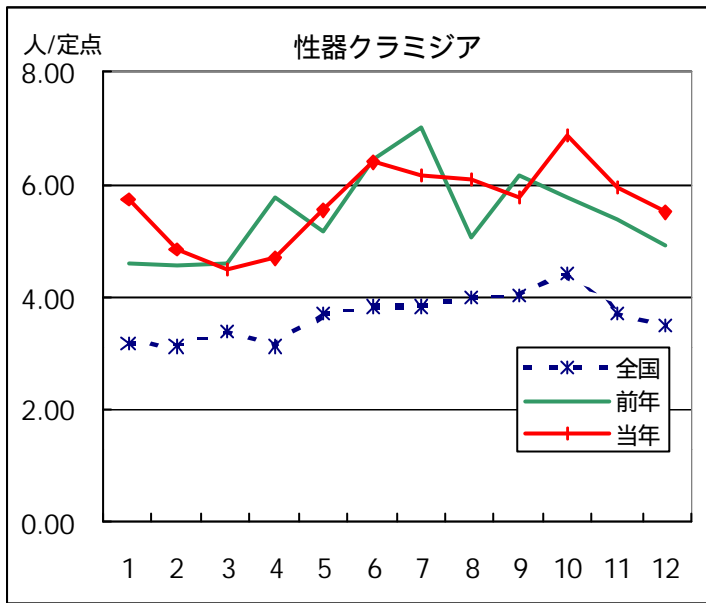
### (病原体情報)

- ・性感染症定点から血清13検体、子宮頸管拭い液44検体が搬入された。
- ・血清の検査結果は、梅毒血清反応は全例陰性、クラミジア・トラコマチス抗体はIgA・IgG共に陽性が5件、IgGのみ陽性が3件であった。
- ・子宮頸管拭い液のクラミジア・トラコマチス遺伝子検査は6件が陽性で、このうち血清が搬入されていたのは3件でIgA・IgGともに陽性が2件、IgGのみ陽性が1件であった。
- ・子宮頸管拭い液の淋菌遺伝子検査は2件が陽性で、このうち1件はクラミジア・トラコマチス遺伝子および抗体IgA・IgG陽性であった。

## 調査票通信 定点医療機関からのコメントを掲載

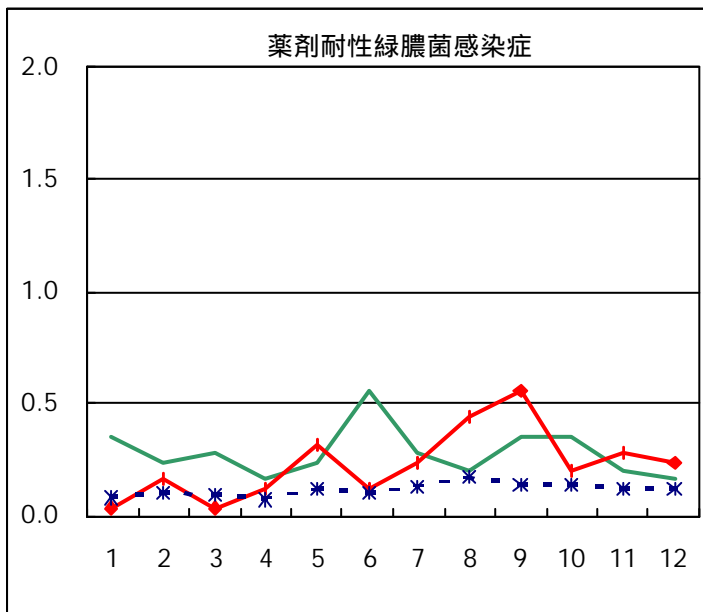
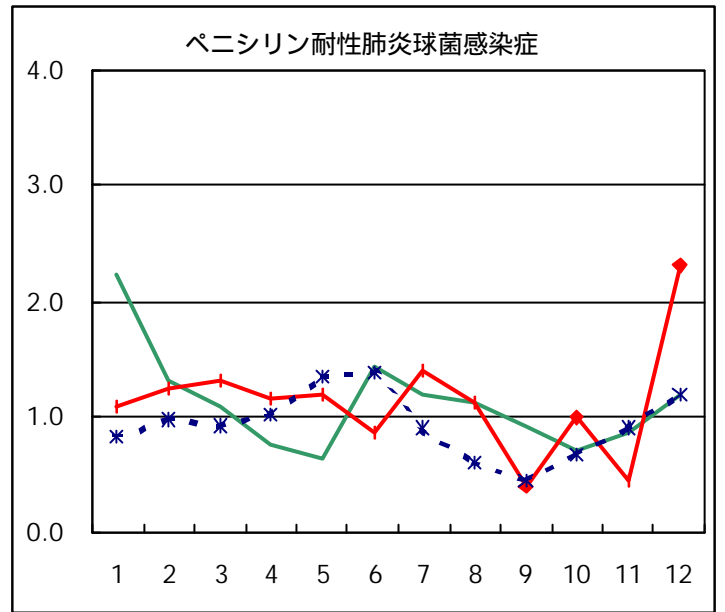
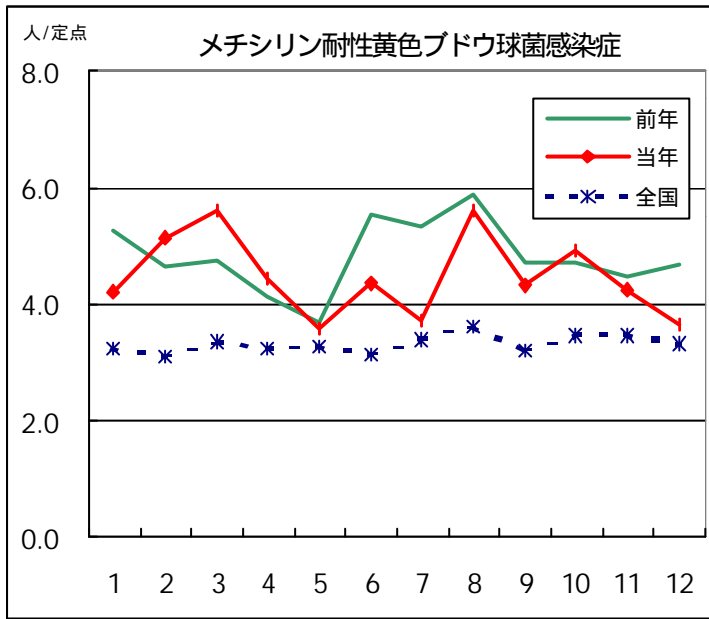
今月は、定点医療機関からのコメントはありません。

# 疾病別グラフ(四類定点月報告分)



基幹定点報告疾患集計 (2001年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	105	129	140	111	89	109	93	140	108	123	106	91	1344
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	27	31	33	29	30	22	35	28	10	25	11	58	339
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	4	1	3	8	3	6	11	14	5	7	6	69



疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
梅毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	



## S T I 年齢階級別累計表 ( 1 2 月 )

男						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			8	2	3	1
20～24歳			25	6	5	18
25～29歳	1	1	29	5	3	22
30～34歳		1	16	12	4	20
35～39歳			19	7	3	12
40～44歳			10	1	2	6
45～49歳			2		1	6
50～54歳		1	4	3	1	5
55～59歳			4			
60～64歳			2			
65～69歳				1		
70～歳						
合計	1	3	119	37	22	90
先月数	0	5	125	42	25	88
増減数	1	-2	-6	-5	-3	2

女						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	3		22	3	2	2
20～24歳	14		38	6	9	5
25～29歳	8		27	12	3	10
30～34歳	7		13	13		
35～39歳	5		2	8	1	
40～44歳	1		4	5		
45～49歳	3			2		
50～54歳	5			1		1
55～59歳	2			2		
60～64歳						
65～69歳						
70～歳	1			1		
合計	49	0	106	53	15	18
先月数	43	3	119	52	22	23
増減数	6	-3	-13	1	-7	-5

## S T I 保健所別累計表 ( 1 2 月 )

男								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			6			2	8
渋谷区	3			10	1		1	12
池袋	3		2	25	5	9	13	54
荒川	1							
足立	1			2	1		5	8
台東	5			1				1
大田区	3				1			1
北区	1			2			1	3
板橋区	2			6	1	1		8
みなと	2		1	8	5	1	6	21
中野区	1			10	3		1	14
新宿区	5			21	4	3	23	51
品川区	1			1			1	2
文京	1							
墨田区	1			4		1	3	8
江東区	2			17	10	4	24	55
八王子	3							
町田	1	1						1
多摩立川	2						2	2
三鷹武蔵野	1			6	6	3	8	23
総計	41	1	3	119	37	22	90	272
定点当り		0.02	0.07	2.90	0.90	0.54	2.20	6.63

女								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			1				1
渋谷区	3				1			1
池袋	3	5		9	4	3	2	23
荒川	1				1			1
足立	1							
台東	5	19		39	22	3	6	89
大田区	3			1				1
北区	1							
板橋区	2							
みなと	2	1		13	6	1	1	22
中野区	1							
新宿区	5	1		13	9	5	3	31
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1				1			1
江東区	2			6	2	1	1	10
八王子	3	22		13	2			37
町田	1	1		1				2
多摩立川	2			5	1		2	8
三鷹武蔵野	1			5	4	2	3	14
総計	41	49		106	53	15	18	241
定点当り		1.20	0.00	2.59	1.29	0.37	0.44	5.88

S T I 保健所別定点当り累計表 ( 1 2 月 )

男							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
中央	2			3.00			1.00
渋谷区	3			3.33	0.33		0.33
池袋	3		0.67	8.33	1.67	3.00	4.33
荒川	1						
足立	1			2.00	1.00		5.00
台東	5			0.20			
大田区	3				0.33		
北区	1			2.00			1.00
板橋区	2			3.00	0.50	0.50	
みなと	2		0.50	4.00	2.50	0.50	3.00
中野区	1			10.00	3.00		1.00
新宿区	5			4.20	0.80	0.60	4.60
品川区	1			1.00			1.00
文京	1						
墨田区	1			4.00		1.00	3.00
江東区	2			8.50	5.00	2.00	12.00
八王子	3						
町田	1	1.00					
多摩立川	2						1.00
三鷹武蔵野	1			6.00	6.00	3.00	8.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
中央	2			0.50			
渋谷区	3				0.33		
池袋	3	1.67		3.00	1.33	1.00	0.67
荒川	1				1.00		
足立	1						
台東	5	3.80		7.80	4.40	0.60	1.20
大田区	3			0.33			
北区	1						
板橋区	2						
みなと	2	0.50		6.50	3.00	0.50	0.50
中野区	1						
新宿区	5	0.20		2.60	1.80	1.00	0.60
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1				1.00		
江東区	2			3.00	1.00	0.50	0.50
八王子	3	7.33		4.33	0.67		
町田	1	1.00		1.00			
多摩立川	2			2.50	0.50		1.00
三鷹武蔵野	1			5.00	4.00	2.00	3.00

2次医療圏別累計表（2001年12月） 総計 患者報告数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
区中央部	20	1	68	33	5	15	142
区南部			2	1		1	4
区西南部			10	2		1	13
区西部	1		44	16	8	27	96
区西北部	5	2	42	10	13	16	88
区東北部			2	2		5	9
区東部			27	13	6	28	74
西多摩							
南多摩	24		14	2			40
北多摩西部			5	1		4	10
北多摩南部			11	10	5	11	37
北多摩北部							
島しょ							
計	50	3	225	90	37	108	513

2次医療圏別累計表（2001年12月） 総計 定点当たり発生数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	定点数
区中央部	1.82	0.09	6.18	3.00	0.45	1.36	11
区南部			0.50	0.25		0.25	4
区西南部			3.33	0.67		0.33	3
区西部	0.17		7.33	2.67	1.33	4.50	6
区西北部	0.83	0.33	7.00	1.67	2.17	2.67	6
区東北部			1.00	1.00		2.50	2
区東部			13.50	6.50	3.00	14.00	2
西多摩							0
南多摩	6.00		3.50	0.50			4
北多摩西部			2.50	0.50		2.00	2
北多摩南部			11.00	10.00	5.00	11.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	1.22	0.07	5.49	2.20	0.90	2.63	41

## H I V 感染症・A I D S の治療の動向

東京都医師会感染症予防検討委員会

HIV 感染症・AIDS の医療技術はまだ確立されていない。診断法・治療法・検査法は進歩し続けているので、新しい情報を得る努力が大切である。

### (1) 診断

まずスクリーニングとして酵素抗体法ないし凝集法で検査を行い、陽性ならウエスタン・ブロット法ないし蛍光抗体法で確認する。この両者が陽性の場合に HIV 感染と診断する。

### (2) 検査

経過観察の際、免疫機能は CD4 陽性細胞数測定で評価し、HIV の活動性を HIV - RNA 定量測定で判定する。この二つの指標をもとに、抗 HIV 療法のガイドラインが作られている。

### (3) 抗 HIV 治療

この治療は HIV 感染から AIDS への進行を遅らせる効果が認められているが、HIV を完全に不活化することはできない。したがって、当面の抗 HIV 療法の目標は血漿の HIV - RNA 量を検出限界未満に維持することにある。治療を行う際は最新のガイドラインを参考にするべきである。現在は、多剤併用療法 (HAART ; Highly Active Anti-Retroviral Treatment) が推奨されている。

### (4) 合併症の治療

AIDS に合併する特徴的な日和見疾患は 23 あり、この分野の医療技術も発展途上であり、文献 1 などそれぞれの合併症治療の項を参照のこと。

### 文献

- 1 Bartlett G J and Gallant E J :2000-2001 Medical Management of HIV Infection  
John Hopkins University School of Medicine 2000

(文責・根岸昌功)